

平成28年度第7回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その1

議員名	件名	要旨
1 原 節雄	1. 東田原の最終処分場の購入経過について尋ねる	①旧所有者氏名と購入金額、産廃の処分を知って購入に至ったのか、産廃は知らないで購入したのか。誰の仲立ちで購入したのか。購入までの経過説明を求める。当時の担当課長の説明も求める。 ②東田原の役員と町の担当職員が佐賀に最終処分場の状況調査に行ったと聞きますが、関係役員には事の次第を説明したのか。 ③ボタ山に隣接していたことは知っていたのか、知らなかったのか。処分地は100年の能力があると言われていたが、16,500㎡で実際にはそんなに余裕がない。計算を求める。 ④前所有者に対し、契約書に瑕疵の記載を確認したのか、前所有者を提訴すると言っていたが、その後の経過を尋ねる。
	2. 農道工事	耕作者の同意なしと負担なしで農道を町道以上に拡張し、あたかも農道が本線町道の用に変更し、予算も農政の予算でない。何の予算と補助事業名、入札者数と落札価格の差とか、瑕疵の説明があつたが、いまだに農道で、地元の要望もなく、農耕者の負担もなく、補助金要綱に違反している。このことについて尋ねる
2 千葉 加代子	1. 免許自主返納者の支援について	①運転経歴証明書の提示で支援サービスを受けることができますが、本町で利用できる民間のサービスはありますか。 ②自治体による運転免許自主返納支援が取り組まれていますが、本町では計画がありますか。
	2. 町内会（自治会）未加入者への対応について	①行政区の要支援者等の把握対象になっていますか。 ②広報等の配布はされていますか。 ③行政区に加入できない区域について今後の対応は。
	3. 子育て支援について	①イベント等の移動式赤ちゃん支援（小型テントでの授乳室設置等） ②トイレでのオムツ交換台 ③庁舎で使用するベビーカーの設置 ④祖父母手帳の支給 ⑤一時預かり事業の実施はされていますか。
	4. 災害発生時のマニュアルについて	①緊急時を想定しての職員研修は計画的に行っていますか。 ②新人職員等への研修は、公務員としての自覚付けにも必要と思われませんが、女性職員も駆けつけるマニュアルになっていますか。 ③近隣市町村との連携と協力関係等は。

平成28年度第7回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その2

議員名	件名	要旨
3 樋口 秀隆	町境付近から吉原町、本町に懸念の水害の予防、進捗は。	<p>前回12月会議での質問のその後について。</p> <p>今年の雨季が3カ月後に近づいてきている。懸念されるゲリラ的集中降雨に対して、住民の運動で2月15日に「田川県土整備事務所」に要望した対応は、早速その日のうちに現地に出向いていただき、「今年の秋には対処したい」という回答をいただいたとのことでした。</p> <p>これに応じて、川崎町としても県と連携して速やかな対応を施す必要があると考える。</p> <p>今年の雨季にむけて、1日も早い対応を考えていただきたいが、水害の予防に向けた進捗状況は、どのようになっていますか。</p>
4 櫻井 英夫	1. 総合計画と総合戦略について (町長)	<p>①平成27年度から5カ年の期間でスタートさせた総合計画は、既に2カ年経過。PDCAサイクルの精神に則り、点検評価と計画修正の必要があると思うが、教育委員会の例に倣い、自己採点を取り入れた評価報告書を作成するようにはどうか。</p> <p>②国の地方創生の掛け声のもと、総合計画と軌を一にして総合戦略が策定されているが、職員は戦略を常に意識しているか。戦略は、具体的施策として確実な実施と見直しが求められるが、進捗状況はどうなっているか。</p>
	2. 観光等交流事業について (町長)	<p>友好都市、姉妹都市を締結し、相互交流により地域活性化を図る自治体がある中、本町もかつてルーマニアブレアザと姉妹都市締結したが本年度解消。また、雪舟サミットからも離脱している。</p> <p>観光振興の観点から、友好交流事業推進は重要。田川の枠を越え、自治体間で交流事業を展開すべきでないか。</p> <p>また、難民受入れも一策ではないか。政府に提言してみてもどうか。</p>
	3. ボランティアセンターの設置について (町長)	<p>福岡県にはNPOやボランティア団体を支援するボランティアセンターが設置されており、田川市でも今年度整備された。</p> <p>本町は、ボランティア団体等の育成に対して、どのような考えでいるのか。社会福祉推進の観点から、社協との連携も必要だが、どうか。</p>
	4. 青少年育成について (教育長)	<p>平成27年10月に、ふくおか未来人材育成ビジョンが策定されているが、ビジョンの検討はなされたか。また、本町の施策にどの様に反映されているのか。本町も県に倣いビジョンの策定を求む。</p>
	5. 中高一貫校設置構想について (教育長)	<p>構想が発表されてから、最近では報告も報道も少ない。進展しているのか。田川地区自治体の中学統合と中高一貫校設置との関連性はどうか。</p> <p>福岡県立大学に附属中学・高校との目論見もありそうだが、福岡県の施政方針はどうなっているのか。</p>

平成28年度第7回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表
その3

議員名	件名	要旨
5 手嶋 真由美	1. 認知症の早期発見、相談体制の充実について	①現在取り組んでいる認知症カフェの参加状況と内容、本町の今後の具体的な展開はどのようにしていくのか教えてください。 ②地域高齢者の居場所づくりとしてのカフェの充実とともに、認知症対策として相談体制の機能を持った取り組みとして発展拡大させていけないでしょうか。 ③認知症は早期発見・早期相談・早期支援が重要であります。認知症の早期発見のための認知症簡易チェッカーの導入は考えていますか。
	2. 教育現場の熱中症対策について	①本町の教育現場において、どのような熱中症対策をされているのかお尋ねします。 ②熱中症の警戒度を表す暑さ指数を計測して表示できる熱中症計測器の活用が全国的に広まっています。本町の教育現場においての設置状況をお伺いします。 ③水分補給のためのウォータークーラー、給水器の設置状況と設置の経緯を教えてください。
	3. 防災減災対策について	①被災者台帳の整備と、被災者支援システムの活用は、どのようにしていますか。 ②防災の日の取り組み、女性や高齢者向け、各地域に合った防災講習会、避難マニュアル作成の計画はありますか。
6 谷口 武雄	1. 小学校でジュニア救命士講習を	心肺停止で倒れた児童を、近くにいた教師がAEDを使用して命を救った例もあります。(茨城県水戸市) 小さい頃から人命救助の練習を行って、技術を習得すれば大人になってからも経験が活かされます。小学校でジュニア救命士講習を行ってはいかがでしょうか。
	2. 人間教育、実践報告大会	子どもにとって、最大の教育環境は教師自身であります。そのため、教師の方々は子どもたちの応援団、また、一番の理解者として、喜びの光を感じながら毎日努力をしていると思います。 国県から評価を受けて、教員実践表彰及び文部科学大臣表彰を受賞された先生はおられますか。
7 松岡 久代	1. 子ども（中学生）の自転車教育は	4月から新学期を迎えます。自転車の安全走行ですが、道路交通法が改正され、加害者への莫大な損害賠償の事例を耳にします。通学の自転車保険についての指導についてお尋ねします。
	2. 2分の1成人式を	2分の1といえば小学校4年生だと思います。10歳ともなると成長と共に将来の夢、希望等が言える年齢だろうと思います。小学校卒業式には将来の夢や希望がプロジェクターで投影されますが、2分の1の時期と卒業時期の考えを比較するのもいいのではないのでしょうか。お考えをお伺いします。